

## 被災地派遣レポート〈第9回〉

交通局職員部人事課 吉羽 賢昭さん

自分は5月12日から15日までの4日間、陸前高田市の災害対策本部で避難所に配給する物資の搬入・搬出作業と、全国から届いた支援物資に対するお礼状作成作業に従事した。活動初日には震災後初めて熊本から西瓜1000箱が届き、その搬入・搬出に汗を流して取り組んだ。また、活動最終日には市役所の仮庁舎移転準備作業を支援し、津波で泥を被った書類などを新築中の仮庁舎に運び込んだ。自分は入都間もなく被災地に派遣され、右も左も分からない中で同じ岩手第10陣のメンバーに支えられて支援活動を全うすることができた。

支援活動の合間に市職員に案内された陸前高田の市街地は完全に破壊し尽くされたと言っても過言ではないほどの惨状であった。津波は建物の4階部分まで水没させ、5階部分にも浸水するほどの高さまで達していた。現地では、震災から2ヶ月経っても水道の復旧が進まず、家が無事でも避難所への配給物資に依存する人も多く、住民が自立した生活を送ることができるようになるには、長く厳しい道のりになると強く感じた。しかし、現地災害対策本部前に掲げられた「つながろう日本」という横断幕とそれに書き込まれた多くの励ましの寄せ書きを見て、被災地を支える全国の人々の連帯感も強く実感した。こうして今回得た多くの経験を生かして今後の業務に取り組んでいきたい。



(現地災害対策本部前に掲げられた横断幕)



(活動初日に届いた熊本産の西瓜1000箱)